

学校案内

羽咋高校 2023



伝統と革新
羽ばたこう 未来へ

石川県立羽咋高等学校

Hakui Senior High School



天つ空よりひろき胸

世に交はらむ輝や

創立百周年 豊かな人間性と夢を育てる羽咋高校



ベルリン五輪ゆかりのドイツガシワ

昭和11(1936)年のベルリンオリンピックで金メダル受賞者に送られたドイツガシワと同じものを、当時の羽咋中学校長が譲り受けた。樹齢は何と約90年。



吾等は在らむとこしへに

ニ 晝風ひるなぎわたる野を越えて

ひびく羽咋もりの杜の鐘

心澄み行く清き音ねは

高き希望に生きよとぞ

微妙いみじき思ひ胸を揺り

ああ鳴りわたる鐘かねの音

古國能登のよろしき

使命はいよよ饒々にぎにぎし

ああ新しき日本と

吾等は在らむとこしへに

三 ゆふべとどろく邑おふち知瀉がた

はるばる霞けむ氣多たの浦

清き渚をゆびぎして

ここに誓はばわが友よ

学問國すがを清しくし

郷さとは禮讓れいじやう和みなむ

古國能登を思へば

使命はいよいよ遠とほどほし

ああ新しき日本と

吾等は在らむとこしへに

かに



旧制 石川県立羽咋高等女学校校舎



旧制 石川県立羽咋中学校
石川県立羽咋高等学校旧校舎



杜の鐘

校歌の作詞者、折口信夫博士
(明治20年-昭和28年)が寄贈。
心澄みゆく音が響き渡ります。

沿革

- 大正12年 2月 石川県立羽咋中学校設立認可
- 大正14年 2月 旧本館竣工
- 大正15年 3月 羽咋町立羽咋高等女学校設立認可
- 昭和 3年 4月 石川県立羽咋高等女学校となる
- 昭和23年 4月 石川県立羽咋中学校及び石川県立羽咋高等女学校が統合昇格、石川県立羽咋高等学校を設置
- 昭和23年 6月 開校式挙行
- 昭和23年 9月 定時制課程設置 (中心校、邑知分校、志雄分校)
- 昭和24年 4月 石川県立羽咋高等学校と称し、小学区制、男女共学、総合制 (普通、農業、商業、家政) の高等学校として発足
- 定時制高浜分校設置
- 昭和26年 6月 校歌制定
- 昭和36年 4月 定時制、旧羽咋高等女学校校舎に移転
- 昭和38年 4月 高浜分校 (普通、家政) 設置
- 昭和40年 3月 高浜分校、高浜高等学校として独立
- 昭和43年 4月 普通科単独校となる
- 昭和45年 9月 新校舎 (現校舎) 使用開始
- 昭和47年 4月 定時制課程、羽松高等学校 (定時制) として独立
- 平成12年 4月 募集定員5学級 (200名) となる
- 平成15年 4月 文部科学省学力向上フロンティアハイスクールに指定される
- 平成16年 4月 文部科学省スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールに指定される (平成21年3月31日指定終了)
- 平成20年 2月 ワンサギ中等教育学校(オーストラリア)と姉妹校提携
- 平成21年 4月 県高等学校学力向上実践モデル事業推進校指定
- 平成24年 4月 県高等学校連携による教育力向上推進事業校指定
- 平成24年10月 創立90周年記念式典挙行
- 平成25年 4月 課題発見力育成事業推進校指定
- 平成27年 4月 いしかわ探究スキル育成事業推進校指定
- 平成28年11月 大規模改修工事完成
- 令和 2年 4月 新制服制定
- 令和 4年10月 創立100周年記念式典挙行



伝統の羽高体操

昭和42年完成。56年を経た現在も健在。音楽が鳴ると自然に体が動きます。

校歌

一 沙丘に朝の日ぞのぼる

みな出でて見よ水や空

深き心は海に得て

知識いよいよ明らかに

天つ空よりひろき胸

世にまじはらむ輝やかに

古國能登に生ひたち

作詞 折口信夫
作曲 下總皖一

360°の可能性 羽咋高校は未来への原点

未来を拓く進路プログラムで、
あなたの夢の実現をサポートします。

羽咋高校未来塾

探究未来塾

課題研究を中心とした探究活動。1年次で探究の方法を学び、2年次に自分が決めたテーマについて探究し、3年次は論文を作成します。

教志未来塾

教師を目指す生徒に向け、講座を開講します。授業の作り方、プログラミングなど、現在の教育において大切なことを学びます。

医志未来塾

医療従事者を志す生徒に向けた講座です。医療機関を訪問し、専門家から話を聞いたり、体験学習を行います。



プログラミングでドローンを操作
(教志未来塾)



金沢医科大学で体験学習 (医志未来塾)

1年生のおもな進路プログラム

本校では第2学年から理系コースと文系コースにわかれ、それぞれのコースに沿ったカリキュラムで勉強することになります。

コースの選択は第1学年の11月に行われる「科目本登録」で決定します。

4月 学習オリエンテーション

学習法さえ身に付ければ、勉強なんて怖くない!



5月 進路講演会

10年後の自分に思いをはせます。



7月 科目登録(文理選択)説明会

理系コースと文系コースの特色について詳しく説明します。

8月 インターンシップ

医療系・教育系機関で体験します。



8月 大学オープンキャンパス



金沢大学訪問の様子

10月 金沢大出張オープンキャンパス

金沢大学の先生6人が理系・文系各3講座



11月 先輩と語る会

各界で活躍している先輩をお招きします。



11月 科目本登録

理系コース・文系コースを最終決定します。

1年間を通して「総合的な探究の時間」や「LH」で進路学習を行います。専門家による講演会や体験学習で、専門分野に触れることができます。進路実現のために、ホーム担任や教科担任による個人面談で丁寧に対応します。

文系コース

法学・経済学・文学など

理系コース

医学・薬学・理学・工学など

協調性と責任感を育む教育

授業は

- ・45分×7限（50分×7限併用）
- ・8：25～15：25

志望は

- ・9割が国公立大学
- ・大学進学に適したカリキュラム



理科（化学）の授業（2年生）

① 個に応じた習熟度別授業

基礎基本から難関大学の入試に対応する発展的内容まで習熟度別に授業を展開

・習熟度別授業

英語

- ・1年 論理表現Ⅰ、2年 論理表現Ⅱ、3年 全クラス全科目
- ・基礎、標準、応用

数学

- ・2年 全クラス全科目、3年 全クラス全科目
- ・基礎、標準、応用

国語

- ・2年 古典探究、3年 古典
- ・基礎、標準、応用



地理総合の授業（1年生）

・教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	国語⑤		数学⑥				※英語⑥				地歴④		理科②	保健体育④		芸術②		家庭②	情報②		総合①	HR①													
2年文系	※国語⑥		※数学⑦				※英語⑧				地歴公民⑥		理科④		保健体育③		総合①	HR①																	
2年理系	※国語⑤		※数学⑦				※英語⑥				地歴公民④		理科⑧		保健体育③		総合①	HR①																	
3年文Ⅰ	※国語⑦		※数学⑥				※英語⑦				地歴公民⑦		理科④		体育②		総合①	HR①																	
3年文Ⅱ	※国語⑦		※英語⑪				地歴公民⑦		国語/数学③		数学/芸術③		体育②		総合①	HR①																			
3年理系	※国語⑤		※数学⑧				※英語⑦				地歴③		理科⑧		体育②		総合①	HR①																	

※習熟度別授業

② 個に応じた授業補完

きめ細かな指導で、一人ひとりの可能性を大きく広げます

- ・個別学習指導（教科添削指導や小論文添削指導）
- ・質問対応（質問に丁寧に対応）
- ・医志・教志未来塾（平成29年度より）
- ・探究未来塾（平成30年度より）

地元の金沢大学や、京都大学をはじめとする難関大に合格



質問や進路相談に丁寧に対応

▶▶ 個に応じた進路指導で多くの卒業生が夢を実現させています

令和4年度入試の合格者 **国公立大学 77名** **私立大学 275名**

【進路状況】（主な大学合格者数）過去5年間

国公立大学																				私立大学																	
京都大学	北海道大学	東北大学	名古屋大学	電気通信大学	上越教育大学	新潟大学	富山大学	金沢大学	福井大学	山梨大学	信州大学	静岡大学	愛知教育大学	京都教育大学	奈良教育大学	広島大学	香川大学	高知大学	高崎経済大学	首都大東京	新潟県立大学	富山県立大学	石川県立大学	石川県立看護大学	金沢美術工芸大学	公立小松大学	福井県立大学	都留文科大	早稲田大学	明治大学	法政大学	中央大学	同志社大学	立命館大学	関西大学	関西学院大学	近畿大学
2	1	4	3	2	10	17	59	63	10	1	3	4	1	1	1	1	1	2	6	1	3	35	12	34	1	39	17	6	1	1	5	2	12	45	10	3	30
合計 421																				合計 1549																	

在校生からのメッセージ

羽咋高校は「文武両道」を掲げ、百年の歴史を持つ学校です。私は、初めてそれを聞いた際にとっても気後れしてしまい、きちんと学校生活を送れるかに悩みました。しかし、入学し数日も経てば、安心して良いことがわかってきます。先生方は私たちが高校生活に早く慣れるよう気をつけてくださり、部活動で関わる先生方も優しくアドバイスをくださいます。私と同じように不安な人へ、意外と何とかなります。一緒に頑張りましょう。



甲田 彩智

11H 新聞部
中能登中学校出身

羽咋高校に入学し、学習の習慣がついていない私にとっては、やっていけるのか心配でした。しかし、毎日コツコツ勉強することで、少しずつ意識できるようになりました。部活動では、先輩や顧問の先生方が優しく丁寧に教えてくださり、とても良い環境です。

皆さんも、羽咋高校の理念である「文武両道」を実現してみませんか。

古市 凧沙

11H なぎなた部
津幡南中学校出身



中山 貴翔

11H サッカー部
羽咋中学校出身



僕は、「文武両道」という言葉に惹かれ、羽咋高校に入学しました。その言葉の通り、勉強、部活動どちらにも本気で取り組めるとも良い学校です。学校の雰囲気も良く、毎日とても充実した学校生活を送れると思います。先生方の授業も分かりやすく、部活動の先輩もやさしく熱心に教えてくださいます。皆さんも羽咋高校で、充実した楽しい高校生活を送りませんか。

横井 陽

11H バasketボール部
邑知中学校出身



羽咋高校は「文武両道」をモットーとする学校です。日中は集中して勉学に励み、放課後は仲間たちと一緒に汗を流します。これを読んでいる皆さんは、「勉強についていけるのか」や「部活動との両立は大変」というような不安があると思います。しかし、その不安は払拭されるでしょう！羽咋高校の先生方の授業は分かりやすく丁寧で、生徒に寄り添ってくれます。また、高校から新しく始めた部活動も頼もしい先輩方が優しく教えてくれるので、毎日が楽しいです。ぜひ、高校三年間を羽咋高校で過ごしてみませんか。

羽咋高校は、文武両道を体現できる学校です。日々の授業は充実しており、勉強でわからないところがあれば、先生方は丁寧に教えてくださいます。部活動は、優しい先輩が多く、楽しみながらも自分を磨き上げることができます。そのため、勉強にも部活動にも力を入れて、高校生活を満喫したい人にはピッタリな学校です。羽咋高校で、あなたのやりたいことに挑戦してみませんか。

飯貝 柚仁子

12H 軽音楽部
羽咋中学校出身



羽咋高校は「文武両道」を実践できる学校です。入学する前は勉強についていけるか心配だったが、授業が分かりやすくて、予習、授業、復習の黄金サイクルを身に付けておけば、十分勉強についていけます。先生や先輩がとても優しく、クラスの雰囲気もとてもいいです。通学時間は電車の乗り継ぎもあるため結構かかりますが、友達と話せたり勉強したりできるので、とても楽しいです。皆さんも羽咋高校で楽しい時間を送ってみませんか。



三野 愛佳

12H 弓道部
七尾中学校出身



山岸 一斗

12H 野球部
星稜中学校出身

僕は羽咋高校に入学する前は、勉強と部活動を両立できるかとても心配でした。しかし、実際に入学してみると、そんな心配も消えてとても充実した学校生活を送れています。勉強面では、先生方がとても分かりやすい授業をしているので、より学びを深くすることができます。部活動でも顧問の先生が優しく指導してくれます。頼れる先輩もたくさんいるので気軽にプレーができます。皆さんも羽咋高校に入学して、最高の学校生活を送りましょう。

宮本 悠空

12H 柔道部
笠間中学校出身



羽咋高校は「文武両道」を掲げている学校です。勉強と部活動の両立が心配だと考える人が多いと思いますが、難しい内容の授業でも各教科の先生方が丁寧に分かりやすく教えてくださり、安心して勉強に取り組むことができます。部活動では優しく信頼できる先輩方や顧問の先生のもとで、短い時間でも質の高い練習をし、自分の実力を伸ばすことができます。皆さんも僕たちと共に、羽咋高校で充実した高校生活を送りましょう。

羽咋高校を目指そうとしている中学生の皆さんへ 在校生からのメッセージを紹介します。

羽咋高校は文武両道を目指していますが、そんなことが本当にできるのか不安に思う人もいます。私も入学当初はそんな不安を抱えていました。しかし、羽咋高校は部活動に集中できるよう授業時間などが工夫されているので両立がしやすい学校だと感じています。さらに、私は羽咋高校に入学してたくさんの温かい友達や先輩に出会うことができました。ぜひ、羽咋高校と一緒に素敵な3年間を送りましょう。



南部 由奈
13H 吹奏楽部
羽咋中学校出身

私は、「文武両道」を目指しているのが羽咋高校だと知っていましたが、勉強と部活動の両立が自分に出来るのかと不安でいっぱいでした。やはり中学校と比べて授業のペースは速いと同時に内容も濃くなっていきますが、予習、授業、復習の黄金サイクルを行うことで、より効率的な勉強ができています。また、優しい先輩方、先生方のおかげで充実した高校生活を送ることができています。

谷内 心希

13H ソフトテニス部
中能登中学校出身



吉村 日那

13H バレーボール部
中能登中学校出身



私は入学当初「文武両道」を実現できるか不安でした。しかし、いざ学校生活が始まると、先生、先輩の支えもあり、楽しい学校生活を送ることができています。短い時間で集中した勉強、部活動をするので、生活にメリハリをつけることができます。最初は、部活動に入る気がなかった私も、今では入って良かったと思っています。私のように、勉強と部活動の両立に不安を持っている人も入って良かったと思えるのは、羽咋高校だけが持っている魅力だと思います。



芳田 和樹
13H バドミントン部
河北台中学校出身

僕は羽咋高校に入学する前は、勉強や部活動を両立していけるか不安でした。ですが、いざ入学してみると、予習でわからなかった所を先生が分かりやすく授業で解説してくださり、今ではそんな不安はありません。部活動でも、先輩が優しく教えてくださるため、楽しく部活動を続けられています。そのため、とても楽しい学校生活を送ることができています。皆さんも、羽咋高校で楽しく充実した高校生活を送ってみませんか。

私が入学した当初、不安に感じていたことは日々の予習と復習です。これまでの私は特に予習の習慣が身についておらず、日々の授業についていけるか不安でした。しかし、羽咋高校の先生方は丁寧に細かく指導をしてくださっており、自分に合った勉強方法を見つけることができたことで、だんだんと予習の習慣が身についていきました。皆さんも、高校3年間の青春を羽咋高校で過ごしてみませんか。



澤本 茶々
14H 生活情報部
宇ノ気中学校出身

僕は羽咋高校に入学する前、毎日の予習・復習に加えて、部活動を両立できるか不安でした。しかし、いざ入ってみると、勉強面では、休み時間にも先生方がわからない問題を丁寧に教えてくださるし、部活動では、雰囲気がとても良く先輩方も優しいため、楽しく学校生活を送ることができています。文武両道を実践するのは大変ですが、スキマ時間を勉強にあてるなどの工夫をすることで、頑張れています。勉強と部活動の両方を頑張りたい人はぜひ羽咋高校に来てください。

岡 隼永

14H 陸上競技部
富来中学校出身



田口 大晴
14H 卓球部
七尾東部中学校出身

皆さんは高校とはどんなイメージがありますか？僕が中3のときは、「勉強だけしかない所」だと勝手に思っていました。しかし、入学してみると校長先生が「羽高は文武両道の学校であり部活動に力を入れましょう」と言われました。僕の考えていた高校のイメージとちがっていて驚きました。とは言っても、勉強第一なので、宿題や予習・復習などはとても大変ですが、それでも頑張れると思う人は、来年羽高で会いましょう。



平田 煌星

14H 剣道部
宝達中学校出身

羽咋高校は文武両道を掲げているだけあって、勉強量がとても多く、部活動も真面目にやります。予習など少しサボってしまうと次の授業についていけなくなることもあります。私はその覚悟を持ってこの高校を選びました。ただ、常にしんどいわけではなく、友達が作りやすく先輩とも親しくできる高校なので、楽しい生活が送れると思います。文武両道を目指している人は、ぜひ羽咋高校に来てください。

志望大学 合格者の声



岡島 瑠奈 (志賀中学校出身)
軽音楽部

金沢大学医薬保健学域
保健学類看護学専攻

3年間の高校生活を経て、誰かに言われてから行うのではなく、自ら積極的に学習が重要だと思いました。1年生のうちからコツコツと知識や能力を積み上げていった人は3年生になって受験が本格化したときに有利です。高校生活はあっという間で、すぐに受験生になります。苦手な分野は先生にたくさん質問して、早い段階で克服することが大切です。先生方はとても熱心に教えてくれます。

また、テスト終わりの部活や模試終わりの大イベントは最高に楽しかったことを今でも覚えています。メリハリをつけて、勉強に力を入れて楽しむときは思い切り楽しむ。これがわたしの高校生活をより充実させてくれた要因の一つだと思っています。体育祭や羽高祭、球技大会などすべての行事で忘れられない素敵な思い出がたくさんあります。

最後に、志望大学に進学した今、受験とともに戦い、似た夢を持つ仲間と、高校では学んでこなかった専門的な学問に挑戦することができ、毎日が新鮮です。高校での経験は自分自身を大きく成長させてくれます。皆さんも貴重な青春を是非羽咋高校で楽しんでください!



濱名 杏晴 (羽咋中学校出身)
野球部

金沢大学理工学域理工三学類

私は、この伝統ある学校で文武両道を実践し、充実した学校生活を送りたいという思いを持ち、羽咋高校に入学してきました。私は羽咋高校に入学して心の底からよかったと思っています。まず、勉強面では難しい内容も多くあり、挫折しそうになることは多々ありました。しかし、気軽に相談でき、手厚いサポートをしてくださる先生方、共に高め合い自分のやる気を奮い立たせてくれる仲間など、素晴らしい勉強環境が整っているおかげで、目標を達成することができました。次に、部活動面では勉強との両立が難しいと感じる人もいますが、部活動を通して得られる喜びや悔しさ、そして数多くの出会いは必ず一生の財産になるはず。部活動は自分自身を大きく成長させてくれました。高校生活でしか味わえないこの時間を皆さん是非経験してください。

さらに、羽高祭や修学旅行をはじめとした様々な行事は最高の思い出となるものばかりです。皆さんも羽咋高校に入学すれば必ず最高の青春が待っているはず。いろいろなことに積極的に挑戦し、思いっきり学校生活を楽しんでください。応援しています。



寺井 明香 (邑知中学校出身)
空手道部

富山大学教育学部
共同教員養成課程

私は、羽咋高校でとても充実した3年間を過ごすことができました。勉強では、苦手と向き合い、克服できるように努力しました。わからないところは、先生方に質問して、丁寧に教えていただきました。得意科目は、自分の強みになり、自信が持てました。大学受験では、自分を信じて、最後まで諦めずに勉強して、志望校に合格することができました。

部活動では、コロナ禍で制限がある中、努力をして目標を達成できたことは、とてもいい思い出です。仲間と共に好きなことに熱中することができました。

勉強と部活動の両立は大変でしたが、最高の仲間と共に、お互いを高め合って、勉強も部活動も目標を達成することができました。この喜びは、私の一生の宝物です。

大学に入学して、毎日が新鮮でとても楽しいです。自分の興味のあることを勉強でき、夢に向かって一歩前進できた気がします。志望大学に合格して夢を叶えるために、羽咋高校に入学して、充実した学校生活を送ってください。



宮崎 日菜 (宇ノ気中学校出身)
バレーボール部

金沢大学人間社会学域
地域創造学類

私が羽咋高校での生活を通して感じたことを伝えていきたいと思います。勉強面に関しては、先生方はいつも熱意をもって授業をしてくださり、わからないことがあったらいつでも丁寧に教えてくださいます。周りの生徒と交流する機会も多いので、楽しく授業を受けることができます。また、受験期には毎日過去問演習をする機会があり、解説も毎日してもらえるので、自分がわからなかったことを知ることで次のテストに繋がります。私自身それにとっても助けられたし、過去問をする回数は他校に負けないレベルだと思います。また、羽咋高校では勉強だけでなく部活動にも力を入れているので、部活動を頑張りたい生徒でも勉強と部活動の両立をすることができます。私はバレーボール部に所属していましたが、羽咋高校の先生方のサポートのおかげで現役で金沢大学に合格することができました。後輩のみなさんは、ぜひ1年生の時から受験を意識して勉強することをおすすめします。これからみなさんが勉強も部活動も充実した生活を送っていただけるよう応援しています。



橋向 由依 (七尾東部中学校出身)
バスケットボール部

上越教育大学学校教育学部

私は、高校生活で大切だと感じたことを書こうと思います。まず、私が勉強面において大切にしていたことは、勉強に対するモチベーションを下げないようにすることです。私は、もともと勉強が好きなお人ではありませんでした。しかし、国公立大学に進学することを目標としていたのでこのままではいけないと思い、自分の勉強に対する取り組み方を変えました。私は最初に目標を決めることから始めました。目標を持つことで自分のやるべきことが明確になります。目標を達成できれば自分の自信につながり、達成できなければ自分が今どこにいるかを捉えることができます。また、私は友達との関係も大切にしていました。友達と教えあうことで理解力を高められ、友達をライバルとして捉えることで負けたくないという気持ちとともに一緒に勉強を頑張っているという心の支えになり互いにモチベーションを維持することができます。私は、友達との関係を大切にしていたことで、新型コロナウイルスにより規制がかかっていた学校行事や、とても長く感じる受験勉強も、楽しく後悔がないように過ごすことができました。高校3年間たくさんさんの濃い思い出を作れるように頑張ってください。



山本菜々子 (高松中学校出身)
英語部

金沢大学人間社会学域
地域創造学類

私が羽咋高校に進学してよかったと感じたことは、授業でわからないことや疑問な点があったときに丁寧に教えてもらえることです。私が質問に行った際に、理解するまで説明してくださったことを覚えています。文武両道を掲げている羽咋高校では、課題や予習は欠かさずに行う必要があり、部活動にも力を入れています。学校行事も全力で行います。体育祭や羽高祭では生徒が主体で活動することが多く、友達と楽しい思い出を作ることができるはず。私は、英語部に所属していましたが、同級生だけではなく先輩や後輩とお互いにアドバイスをしながら楽しく活動ができたことで、コミュニケーション能力と英語力の向上につながったと感じています。部活動に入ってよかったと思っています。大学受験は、大変なことがとても多いですが、自習室や図書室に勉強スペースがあり、集中して勉強ができます。時には友達と問題を出し合ったり、励ましあったりすることで乗り越えられます。志望校に入学できた今は、自分の興味のあることについて専門的に学ぶことができ、充実した大学生活を送っています。自分の夢や目標をかなえるためにも、高校で何事にも全力で取り組み、楽しい3年間を送ってください!

先輩からのメッセージ

今は夢がなくても

フリーアナウンサー 浅野 夏実 (2011年卒業)



地方のテレビ局でニュースキャスターとして勤務した後、現在はフリーアナウンサーとして、関東を中心にニュース情報番組に出演したり、リポーターや司会の仕事をしたりしています。今、アナウンサーとして毎日楽しく活動できているのは、羽咋高校での日々があったからです。

高校時代、将来の夢がなく、苦手な科目も多かった私は、進んで勉強に取り組めないことがありました。そんな時でも、熱心な先生方が、度々テストの機会を設けるなど、勉強しないといけない環境をつくってくださったお陰で、なんとか食らいついて勉強し、希望の国立大学に入学することができました。

また、勉強だけでなく、伝統のマラソン大会や部活動など、さまざまな活動に力を注げる環境があることも、羽咋高校の生徒でよかったと感じることの一つです。今でも、番組の中で千里浜を駆け抜けたマラソン大会のことを話したり、高校でも打ち込んだバスケットボールの取材に携わったりと、羽咋高校で頑張ったことが全て今の仕事につながっています。たくさんの経験をさせてくれた羽咋高校には、心から感謝しています。

みなさんの中にも、今はまだ将来の夢が決まっていなくてもいい方もいるかもしれませんが、やりたいことが見つかった時に、どんな道にも進めるビジョンを広げてくれるのが、羽咋高校だと思います。

さまざまな可能性を秘めたみなさんも、羽咋高校で、自分の未来のために突き進んでみてください。

こどもたちの笑顔に癒され、励まされ

大阪母子医療センター 小児泌尿器科 松山 聡子 (2005年卒業)



金沢大学医学部医学科を卒業し、現在は大阪のこども病院で小児泌尿器科医として働いています。小児泌尿器科という分野にはなじみがないと思いますが、腎尿路生殖器の主に先天性疾患を扱う外科医です。手術したこども達の成長を見守りながら、こども達の笑顔に癒され、励まされ、充実した日々を過ごしています。やりがいを感じる事、自分が好きな事を仕事にできている事を幸せに思っています。

私は家族の入院をきっかけに医師を目指すようになりましたが、羽咋高校の先生方は夢実現のために、親身にそして熱心に指導して下さいました。先生方の激励と、きめ細やかな助言のおかげで心折れることなく努力し続ける事ができたのだと思っています。羽咋高校では、勉強面の進路指導はもちろんのこと、部活動やその他の活動においても、熱心に指導して下さいます。大学時代に様々な学友と出会いましたが、こんな高校は他にはありません。勉強は塾、スポーツはスクールという様に分業化している高校が多い中、羽咋高校では、全ての面をカバーして下さいるので、まさに個々に応じたオンリーワンの教育を受けることができます。

高校時代で強く思い出されるのは、共に汗を流し、胸を躍らせたバスケットボール部での経験、熱く燃えた羽高祭や球技大会です。これらを通して学んだ、目標に向かい挑戦する精神力や物事の両立につながるバランス力は、間違いなく今の自分の糧となっています。また、様々な目標をもつ友達と出会える事も大きな魅力です。興味・関心の幅が広がり、自分が勝負できる分野を探す第一歩になるのではないのでしょうか。

羽咋高校はまさに、自分が勝負できる分野を発見できる場所です。さまざまな可能性が広がっています。皆さんも羽咋高校で自分だけの未来を見つけませんか。

可能性の無視は最大の悪策

立正大学客員教授 高野 誠鮮 (1974年卒業)



過疎高齢化した農村集落を活性化すると命を受けたときに考えたのは、これまでと真逆な思考をしようということだ。誰かができるのなら、とっくにやっている。どうしてできなかったのか。何が間違っていたのか。誤判断は、経験を通じた知識がないと起こることである。経験のない事柄は不安がつきまとい、失敗した時のことを先に考え、「失敗したらどうする?」と必ず言う。何もしない人は絶対に失敗しない。

人は、恥ずかしいから学歴、肩書きという鎧を身に付けたがる。私が尊敬する日蓮聖人、ゴータマ仏陀はハーバード大学、東大、京大を出ていない。キリストにいたっては、船大工の息子で、何の学歴もない。しかし、この先人達が創り上げてきた哲学「philosophy」つまりphilo+sophia (愛+智慧)は1000年以上も残る。

肩書き学位を持っている人は山ほどいる。でも、現実の課題を解決できるわけではない。何の肩書きもない木村秋則という農家が「奇跡のりんご」を作ったりする。1%の可能性があるならやってみていい。失敗は階段だから。

羽高には高めあえる仲間

新しい自分に出会える場所がある!!

Spring

4月 入学式



4月 遠足

1年生はやわらぎの郷に行きました。



5月 高校相撲金沢大会応援

優秀応援団賞を獲得しました。

6月 修学旅行

感染対策を徹底し、毎年実施しています。



令和4年度は北海道に行きました。

団同士の熱い闘い!

6月 羽高祭 (体育祭)



真剣勝負! 団対抗リレー



団のカラーが出る応援合戦

7月 球技大会

感染防止のため、学年ごとに行いました。



7月 教志未来塾

近隣の中学校で学習支援を行います。



8月 医志未来塾

金沢医科大学で最先端の医療に触れます。



Summer



8月 羽高祭 (文化祭)

(文化祭)



Autumn

9月 探究中間発表



10月 マラソン大会

千里浜海岸を走ります。給水所を設け、安全に配慮して実施しています。



10月 金沢大学 出張オープンキャンパス



金沢大学の教授による体験授業を受けられます。大学の学びの深瀬に触れます。

11月 クリエイティブ人材 (2年生)

第一線で活躍する先輩の話を聞いて学びます。



11月 先輩と語る会 (1年生)

各界で活躍する先輩の熱い話を聞きます。医療系、教育系、地域開発系、金融系など、自分で選んだ系統の話を聞くことができます。

Winter

11月 探究発表会



自分たちの決めたテーマを深く探究し、その成果を発表します。活発な意見交換を行います。

12月 教志未来塾



金沢星稜大学の教授による授業を受け、プログラミングでドローンを飛ばしました。

1月 探究未来塾成果発表会

自分のテーマを探究し、その成果を発表します。個性的なテーマに触れることで、視野が広がります。



3月 卒業式



3月 卒業生と語る会



卒業生の受験体験や高校生活への思いなどを聞きます。

部活動

個性を伸ばし、仲間の大切さを学ぶことができます

羽咋高校は、オリンピック選手を複数輩出しています。現在は、約9割の生徒が部活動に所属しており、運動部、文化部とも活発です。スポーツや文化的活動にける情熱は大きく、どの部もチームワークを大切に、全国大会を目指して活動に取り組んでいます。

●文化系●

新聞 吹奏楽 英語 茶華道 美術・写真 JRC
生活情報 軽音楽 未来塾

●運動系●

硬式野球 陸上競技 卓球 剣道 弓道 柔道
空手道 なぎなた バasketボール サッカー
ソフトテニス バレーボール バドミントン

●令和4年度 全国大会出場部●

全国高等学校総合体育大会	陸上競技	女子個人
国民体育大会	陸上競技	女子個人
全国高等学校総合体育大会	剣道	女子個人
国民体育大会	剣道	女子団体
国民体育大会	剣道	男子団体
全国総合文化祭	新聞	出場権獲得
全国選抜大会	なぎなた	男子個人

●令和5年度 県高校総体総文 主な成績●

—剣道部—	
女子団体	第1位 (全国総体、北信越大会出場)
男子個人	第1位 (全国総体、北信越大会出場)
	ベスト8 (北信越大会出場)
女子個人	第2位 (全国総体、北信越大会出場)
	ベスト8 (北信越大会出場)
	ベスト8 (北信越大会出場)
—なぎなた部—	
女子団体試合	第3位 (北信越大会出場)
—柔道部—	
男子個人 81kg級	第2位 (北信越大会出場)
男子個人 73kg級	第5位 (北信越大会出場)
—空手道部—	
男子団体組手	第3位 (北信越大会出場)
男子団体総合	第3位
女子団体組手	第3位
—陸上競技部—	
女子個人やり投	第3位 (北信越大会出場)
—卓球部—	
男子シングルス	ベスト64 (中部日本大会出場)
女子シングルス	ベスト32 (中部日本大会出場)
女子シングルス	ベスト64 (中部日本大会出場)
—ソフトテニス部—	
男子個人	ベスト16 (北信越大会出場)
—英語部—	
ステージパフォーマンスの部	優秀賞

なぎなた部



バスケットボール部



弓道部



剣道部



吹奏楽部



新聞部

コンクールで最優秀賞獲得

軽音楽部 学校祭のコンサート



陸上競技部

投てきで三冠



JRC部

地域の方々と千里浜で
グリーン活動をしています！



相撲

熱い応援の中、熱戦
を繰り広げます。



羽咋駅東口より徒歩約8分

石川県立羽咋高等学校

〒925-8550 石川県羽咋市柳橋町柳橋1番地
TEL(0767)22-1166 FAX(0767)22-0791
<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/hakufh/>